

ジャーナリズム・カフェ

「知的障害者サッカーをテーマにして」

見えにくいもの、伝えにくいものを感じる

1 「伝えたい」。これは人が他人と関わりを持つうえで、本能として感じることもかもしれません。では、どうすれば自分の想いは伝わるのでしょうか。インターネットをはじめとして、誰でも自ら情報発信する機会は増えています。そこではどう物事を見て、理解して、伝えればいいのか。もしかすると、伝えることを職業とするジャーナリストの感覚や視点を生活に取り入れ、自分のテーマを見つけることで、より良く生きるための糧になるかもしれません。



2 Journalism

今回、テーマになる知的障害者サッカーは、今年の8月に“もうひとつの世界カップ”と言われる「INAS-FID」サッカー選手権南アフリカ大会が行われる予定です。さらに代表だけでなく、各地で様々な活動も行われています。

Cafe

3 このカフェでは、飲み物を片手に知的障害者サッカーをジャーナリズムの角度から見つめます。最初に、話題提供者（スピーカー）が30分程度の話をし、次に1時間ほどかけて参加者の皆さんとのディスカッションを行います。そして、もっと深く知りたい方、参加したい方には、次のステップ「ジャーナリズム・フォーカス」も準備しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■日時と内容

日時：4月15日(木) 19:00～21:30
4月24日(土) 14:00～17:00

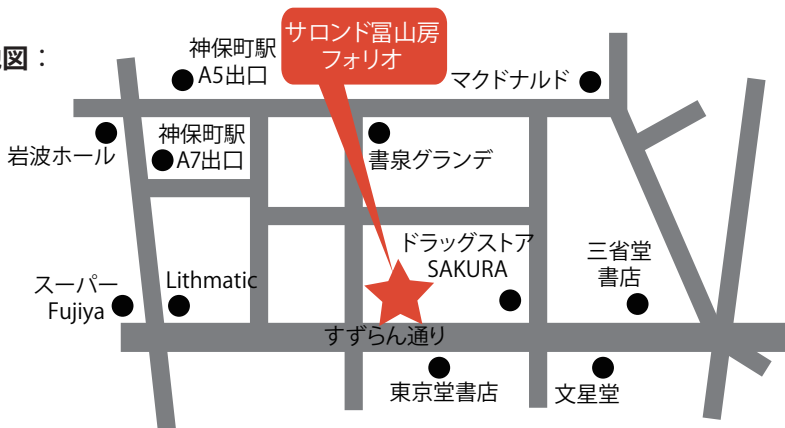
※どちらかを選択ください。
※開場時間は20分前です。それ以前は入場できません。

会場：サロンド富山房フォリオ(神保町)
(神保町「サロンド・フォリオ」で検索ください。)

定員：各40名

※先着順 定員に達し次第締め切ります。

地図：



■スピーカー：

ヤハギクニヒコ(矢萩邦彦)
湯山尚之(ゆやまたかゆき)

アルスコンビネーター／株式会社スタジオアフタモード代表取締役(24日のみ)
ジャーナリスト／『夢・プライド in ブルー』著者

■参加費用： ¥1,000

■参加方法： info@joinpartners.jp 参加日とお名前を記入の上、メールでお申し込みください。お問い合わせもこちらをお願いします。

■主催・運営： ジョインパートナーズ株式会社 ワークショップ事業部 電話番号 03(5201)3705

■協力： 株式会社スタジオアフタモード 株式会社富山房インターナショナル 横浜F・マリノス フトゥーロ (五十音順)